

北九州市道路公社

北九州市道路公社

I 法人の概要（平成 26 年 4 月 1 日現在）

1 所在地

北九州市戸畑区川代一丁目 1 番 1 号

2 設立年月日

平成 17 年 11 月 1 日

3 代表者

理事長 金子 孝治

4 基本金

742,400 千円

5 北九州市の出資金

742,400 千円（出資の割合 100.0%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	3 人	0 人	1 人	2 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	2 人	0 人	0 人	2 人
職 員	11 人	8 人	0 人	3 人

7 市からのミッション

本市の区域において、一般有料道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与する。

これを遂行するために、安全性を確保しつつ計画どおりの着実な償還ができるよう、利用者の拡大に取り組む。

II 平成 25 年度事業概要

1 利用実績

平成 18 年 4 月、市から若戸大橋を引き継ぎ、平成 24 年 9 月に供用開始した若戸トンネルとともに管理運営を行っている。

平成 25 年度の若戸大橋と若戸トンネルの年間通行台数は 16,510,374 台、料金収入は 14 億 3,480 万円だった。料金収入の内訳（構成比）は、現金収入が 45.1%、回数券販売収入が 48.8%、E T C 収入が 6.1%であった。

(1) 交通量

	H25 実績	H25 予算	H24 実績	対予算比%	対前年比%
年間（千台）	16,510	16,169	16,221	102.1	101.8
日平均（台）	45,234	44,300	44,443		

(2) 料金収入

	H25 実績	H25 予算	H24 実績	対予算比	対前年比%
年間（千円）	1,434,801	1,321,000	1,322,452	108.6	108.5
日平均（千円）	3,931	3,619	3,623		

2 事業実績

将来にわたる若戸大橋の健全性を確保するため、取付橋のトラス関係の塗装塗替や橋台伸縮装置取替外工事を実施するとともに、老朽化した昇降機の改修工事を行った。

また、若戸大橋の吊橋部の耐震対策に取り組むため、その予備的な検討として、他事例を参考とした耐震検証業務を行った。

さらに、平成 24 年度から導入した交通管理、管制業務委託及び若戸トンネルの道路保全業務委託の充実を図った。

平成 25 年度 主な工事等

業 務 名	費用（千円）	概 要
戸畑取付橋（一期）トラス塗替塗装等工事	217,675	若戸大橋戸畑側取付橋のトラスの塗替塗装
若戸大橋昇降機改修工事	121,347	若戸大橋主塔内にある昇降機の改修工事
道路保全、交通管理、管制業務	100,301	道路清掃、雪氷作業、監視・パトロール等
若戸大橋橋台伸縮装置取替外工事	39,276	若戸大橋橋台伸縮装置の取替工事
耐震検証業務	14,490	吊橋部の耐震対策に係わる事前検証

Ⅲ 平成 25 年度決算

1 貸借対照表

平成 26 年 3 月 31 日現在（単位：円）

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
流 動 資 産	1,145,463,653	流 動 負 債	210,429,562
預金	1,064,438,021	未払金	198,563,632
未収金	81,025,632	預り金	11,865,930
固 定 資 産	11,343,387,201	固 定 負 債	7,061,500,000
事業資産	10,890,881,686	政府借入金	1,068,600,000
道路	10,890,881,686	長期借入金	5,992,900,000
有形固定資産	448,321,339	特別法上の引当金	4,474,521,292
建物	312,954,188	事業損失補てん引当金	1,286,598,972
機械及び装置	194,446,350	償還準備金	3,187,922,320
車両及び運搬具	6,815,480		
工具・器具及び備品	38,162,203	(負債合計)	11,746,450,854
有形固定資産減価償却累計額	▲ 104,056,882		
無形固定資産	4,184,176	基 本 金	742,400,000
電話加入権	362,040	北九州市出資金	742,400,000
ソフトウェア	3,822,136	(資本合計)	742,400,000
資 産 合 計	12,488,850,854	負 債 ・ 資 本 合 計	12,488,850,854

2 損益計算書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日 (単位：円)

費用の部		収益の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
管理業務費	1,088,702,350	業務収入	1,435,966,665
管理業務費	1,088,702,350	料金収入	1,434,801,389
一般管理費	122,078,834	原因者負担金収入	60,900
一般管理費	122,078,834	道路占用料収入	801,300
特別法上の引当損等	162,843,262	業務負担金収入	236,036
事業損失補てん引当損	163,978,000	業務雑収入	67,040
償還準備金繰入額	▲ 1,134,738	業務外収入	1,799,667
その他の引当損	21,947,847	利息収入	268,074
固定資産減価償却費	21,947,847	雑収入	1,531,593
業務外費用	42,194,039		
支払利息	42,194,039		
合 計	1,437,766,332	合 計	1,437,766,332

IV 平成 26 年度事業計画

《平成 26 年度の事業計画概要》

若戸大橋及び若戸トンネルの安全で安心な通行の確保に取り組んでいくことを第一に、費用対効果を十分精査のうえ、長期保全計画に基づき、維持補修対策を講じる。

1 営業計画

(若戸大橋及び若戸トンネル)

若戸大橋 2.1 km の年間通行台数は 11,023,000 台、料金収入は 9 億 1,400 万円と見込み、若戸トンネル 2.1 km の年間通行台数を 5,463,685 台、料金収入を 4 億 5,300 万円と見込んでいる。合計通行台数は 16,486,685 台、合計料金収入を 13 億 6,700 万円と見込んだ。

(注：若戸大橋と若戸トンネルの通行台数の割合は平成 17 年交通センサスを参考に算定。)

2 事業実施概要

若戸大橋の将来にわたる健全性を確保するため、長期保全計画に基づき、維持管理工事を実施する。

道路や施設等の老朽化に対する補修を実施する。

平成 26 年度（予定） 主な工事等

業 務 名	見込費用（千円）
若戸大橋補剛桁関係補修工事	100,000
若松取付橋 R C 構造物補修工事	31,000
取付橋梁支承現況調査業務委託	7,000
耐震検証委員会運営委託	5,000

V 平成 26 年度予算

1 予定損益計算書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日 (単位：千円)

費用の部		収益の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
管理業務費	666,132	業務収入	1,368,249
管理業務費	666,132	料金収入	1,367,000
一般管理費	149,401	原因者負担金	200
一般管理費	149,401	道路占用料収入	800
特別法上の引当損等	495,434	業務負担金収入	210
事業損失補てん引当損	152,000	業務雑収入	39
償還準備金繰入額	343,434	業務外収入	635
その他の引当損	22,304	利息収入	405
固定資産減価償却費	22,304	雑収入	230
業務外費用	35,613		
支払利息	35,613		
合 計	1,368,884	合 計	1,368,884

VI 役員名簿等

1 役員名簿

平成 26 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
理事長	金子孝治	
理事	大関達也	北九州市建築都市局長（兼任）
監事	小松真	北九州市財政局長（兼任）